

# 基本構想

(平成19年度～平成28年度)

平成18年6月19日議決

## 1. 策定の趣旨

八戸市では、これまで昭和47年（1972年）、昭和53年（1978年）、昭和63年（1988年）および平成10年（1998年）の4次にわたり総合計画を策定し、総合的・計画的な市政運営を図ってきました。

平成10年（1998年）に策定した第4次八戸市総合計画は、平成24年度（2012年度）までの15か年の基本構想と、前期・中期・後期に分けた5か年ごとの基本計画から構成され、「人・産業・文化のフロンティア都市」の実現を目指し、各種施策を展開してきました。

しかしながら、第4次八戸市総合計画策定時と比べ、当市を取り巻く環境は大きく変化し、時代の転換期を迎えていることから、新たに第5次八戸市総合計画を策定しました。



## 2. 計画の位置づけ

本計画は、当市のこれまでの歩みをふまえ、これからの時代をどうとらえ、どのように進むべきかについて、10年という計画期間のなかで示すものです。

当市は古くから、農作物の生育に悪影響をもたらす冷涼な東風「やませ」の影響など厳しい自然環境下にあり、「ケガジ」といわれるききんに何度も見舞われながらも、先人たちはまちを広げ、海に乗り出し、やせた大地を耕しながら、この地域で生活を営んできた歴史があります。その結果、今では、6度の水揚げ量日本一を記録した水産業の集積、北東北随一の工業集積、青森県南から岩手県北にまたがる広域商圏の形成、北日本屈指の国際貿易港など、北東北を代表する産業都市に成長してきました。

過去の全国総合開発計画をはじめ、国主導のもとに地方の開発が進められた時代には、新産業都市、むつ小川原、東北縦貫自動車道八戸線、八戸ニュータウン、東北新幹線など、当市も開発型の発展を歩んできました。これらの整備によって今日の繁栄がある一方で、生活環境の悪化、家庭や地域の教育力の低下、地域コミュニティの弱体化、少子化にともない予想される活力の低下といった課題を抱えています。

これからの時代、当市が自立した地方政府として持続的に発展するためには、これまでの歴史をふまえつつ、地域資源を最大限活用しながら、新しい自治の仕組みや、地域の新しい経済循環システムの構築が急務となっています。

本来、自治とは、住民と自治体の責任のもと、地域の実情に応じた適切な施策が主体的に決定・実行され、住民満足度の高い地域社会が実現されるものでなければなりません。そのため、身近な地域のことは地域住民の相互扶助のもとに解決する地域コミュニティの再生や、市民、事業者および行政など、多様な主体が公共を担う新しい自治を構築する必要があります。

また、当市を中心とする八戸地域が、今後、活力と魅力あるまちとなるためには、第1次産業の価値の見直し、第2次産業の再構築、第3次産業の高度化など、経済状況や産業構造の変化等に対応した、内発的に発展する自立型経済圏の形成が急務となっています。

わたしたちは今、どのような「八戸市」をつくろうとしているのか、また、次代を担う郷土の子どもたちに、将来どのような「八戸市」を残すことができるのか、自立した地方政府構築に向けた「八戸モデル」を示す大切な時期を迎えています。

そしてこれからの10年こそ、わたしたちは、しっかりとしたまちづくりのビジョンを持ち、市民、事業者および行政が目標意識を共有しながら、地域資源を十分に活用して、八戸づくりを進めていかなければなりません。

その柱となるのが、今回の第5次八戸市総合計画であり、わたしたちのまちづくりすべての基本となるものであります。

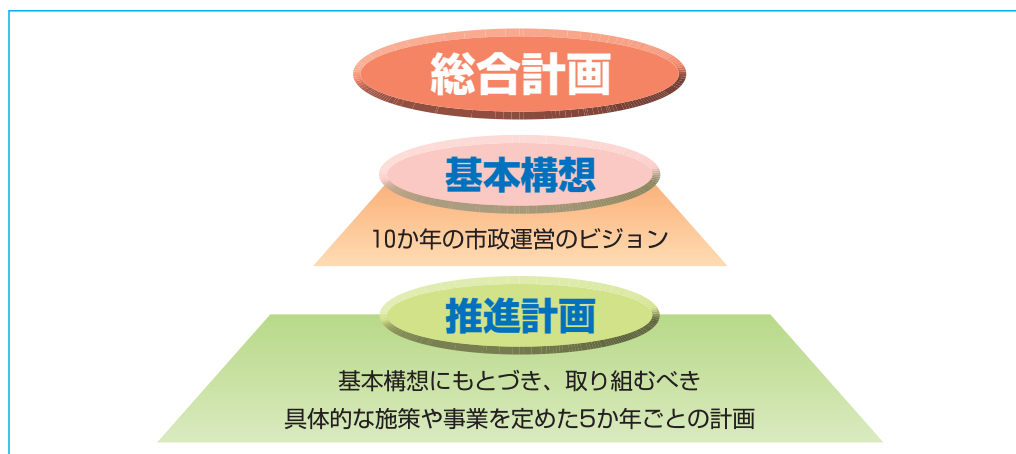
### 3. 計画の体系

本計画は、基本構想と推進計画で構成されます。

ここで定める基本構想は、市民と行政が共有する八戸市の将来都市像を掲げ、10か年の市政運営のビジョンを明らかにします。

また、推進計画は、基本構想にもとづいて別に定めるものとし、5か年で取り組むべき具体的な施策や事業を明らかにします。

#### 計画の体系

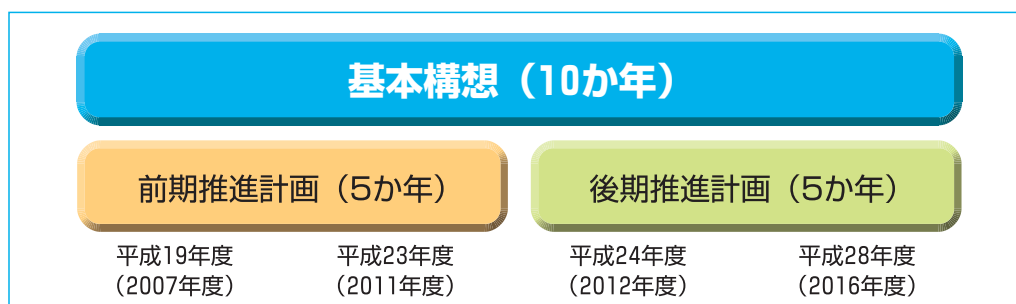


### 4. 計画期間

基本構想の計画期間は、平成19年度（2007年度）から平成28年度（2016年度）までの10か年とします。

なお、計画の適切な進行管理に努め、社会経済情勢等の変化が生じた場合は、必要に応じて新しい計画づくりを検討します。

#### 計画期間



## 5. 計画の構成

基本構想は、第1「まちづくりの歩み」、第2「地域資源」、第3「まちづくりの課題」、第4「将来都市像」、第5「自治経営戦略の方向」、第6「分野別計画の方向」、第7「地域別まちづくりの方向」で構成します。

### 第1 まちづくりの歩み

先史から現在に至るまでの、当市のまちづくりの歩みを整理したものです。

### 第2 地域資源

これからのまちづくりにおいて大切にしていきたい、先人たちが築き上げてきた有形・無形の地域資源について取りまとめたものです。

### 第3 まちづくりの課題

昨今の社会経済情勢をふまえて現状を整理し、これからのまちづくりにおいて取り組むべき課題を取りまとめたものです。

### 第4 将来都市像

基本構想に定める計画期間のなかで、当市が目指す将来都市像を示したものです。

### 第5 自治経営戦略の方向

自治経営の基盤づくりに向け、住民自治の推進や自治体経営の強化に関する取組みの方向について、取りまとめたものです。

### 第6 分野別計画の方向

将来都市像を実現するために、取り組むべき施策の方向について、分野ごとに取りまとめたものです。

### 第7 地域別まちづくりの方向

目指すべき全市的な都市構造のなかで、地域住民にとって身近な地域別まちづくりの方向について示したものです。

## 6. 計画の範囲

本計画の範囲は、当市が主体となって推進する施策や事業を基本としますが、国、県、一部事務組合などの公共機関や、市民、事業者、NPO等の参加・支援・協力が不可欠であることから、これらの公共機関や民間等が実施する施策や事業も含めています。

# 海と大地が響きあう北の中核都市

～魅力・活力・市民力 あふれる力が次代を拓く～

## 基本構想（平成19～28年度）

### 当市の現状・課題

#### まちづくりの歩み

#### 地域資源

1. まちづくりを支える市民力
2. めぐまれた自然環境
3. 先人から引き継ぐ歴史・文化
4. 広域交流の拠点機能
5. 北東北の経済をけん引する産業集積

#### まちづくりの課題

1. まちづくりの仕組みの転換
2. 人材の育成と活用
3. 危機管理と市民の安全確保
4. 環境との共生
5. 少子・高齢化への対応
6. 情報社会への対応
7. 地域活力の創出
8. 交流・連携の推進

### 将来都市像実現に向けた10年間のまちづくりの方向

#### 自治経営戦略の方向

自治経営の基盤づくりに向け、住民自治の推進や自治体経営の強化に関する取組みの方向について、取りまとめています。

1. 住民自治の推進
2. 自治体経営の強化

#### 分野別計画の方向

将来都市像を実現するために、取り組むべき施策の方向について、分野ごとに取りまとめています。

1. 人かがやくまちづくり
2. 活力あるまちづくり
3. 健康・福祉のまちづくり
4. 環境にやさしいまちづくり
5. 安全・安心なまちづくり

#### 地域別まちづくりの方向

目指すべき全市的な都市構造のなかで、地域住民にとって身近な地域別まちづくりの方向について示しています。

1. 全市的な土地利用の方向
2. 地域別まちづくりの方向

# 前期推進計画（平成19～23年度）

## 5年間の総合的な 施策・事業の展開

### 自治基盤整備計画

基本構想に掲げる「自治経営戦略の方向」について、前期推進計画の5か年で取り組むべき具体的な施策や事業を取りまとめています。

#### 1. 住民自治の推進

～協働のまちづくり・地域コミュニティ・市民活動・NPO活動～

#### 2. 自治体経営の強化

～行財政改革・広域行政～

### 分野別計画

基本構想に掲げる「分野別計画の方向」について、前期推進計画の5か年で取り組むべき分野ごとの具体的な施策や事業を取りまとめています。

#### 1. 人かがやくまちづくり

～教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画～

#### 2. 活力あるまちづくり

～産業・雇用～

#### 3. 健康・福祉のまちづくり

～健康・福祉・介護・子育て・社会保障～

#### 4. 環境にやさしいまちづくり

～環境・リサイクル・エネルギー～

#### 5. 安全・安心なまちづくり

～コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通～

## 5年間の分野横断的な 重点施策・事業

### 戦略プロジェクト

前期推進計画の5か年において重点的に取り組むべき施策や事業を取りまとめています。

#### 1. 地域活力の創出のためのプロジェクト群

- 1-1. 企業誘致推進・中小企業強化プロジェクト
- 1-2. 攻めの農業プロジェクト
- 1-3. 攻めの水産業プロジェクト
- 1-4. 八戸ツーリズムプロジェクト
- 1-5. 産学官民連携プロジェクト

#### 2. まちの魅力創造のためのプロジェクト群

- 2-1. 中心市街地再生プロジェクト
- 2-2. 文化・スポーツプロジェクト
- 2-3. 環境創造プロジェクト

#### 3. 地域の安心確立のためのプロジェクト群

- 3-1. 次世代育成プロジェクト
- 3-2. 高齢者・障害者自立プロジェクト
- 3-3. 暮らしの安心プロジェクト

#### 4. 自治基盤の整備のためのプロジェクト群

- 4-1. 協働のまちづくりプロジェクト
- 4-2. 行財政改革プロジェクト
- 4-3. 市民サービス向上プロジェクト